

令和4年2月

普及活動報告



動力肥料散布機による「追肥」散布の様子
(所用時間：約31分/10a)



ドローンによる「追肥一発型肥料」の空中散布
(所用時間：約7/10a)

ドローンによる「追肥一発型肥料」の 空中散布で小麦の施肥省力化に挑戦！

(亀岡市：7日)

(農)河原林では、普及センターと連携し、小麦の実肥省力化に向けて、ムギの生育期間中の肥料分を基肥のみでカバーする「基肥一発型」や基肥に加えてその後の生育期間中の施肥を2月の追肥のみでカバーする「追肥一発型」の現地試験に取り組んでいます。

今回は、肥料メーカーや、管内のドローン作業受託業者の協力を得て、「追肥一発型肥料」の空中散布を試みました。

ドローン作業受託業者によると、空中散布専用肥料は、従来の肥料よりも窒素含有量が高く粒径も空散用に改良されているとのことでした。農家は「途中で肥料を補充する回数が少なくすみ、短時間で偏りなく散布できた」と実用性に手応えを感じていました。普及センターでは、小麦の実肥省力化の現地技術確立に向け、引き続き現地実証を進めていきます。

場 所 亀岡市河原林町
出席者数 7名

令和4年産小麦新品種「せときらら」栽培面積(南丹管内)約49.4ha

京都府南丹農業改良普及センター

令和4年2月

普及活動報告



支柱を立てている様子



金網を取り付けている様子

※南丹地域野生鳥獣被害対策診断チーム
：市町、振興局、農林センター、普及センターで構成。

平成30年度から毎年、20集落程度を選定して聞き取り調査を行う。その結果に基づいて重点集落を選定し、集落住民とチーム員が協働で点検や補修を行う。

地元集落役員と協働で獣害防護柵を設置～京丹波町和知地区～

(京丹波町：25日)

南丹地域野生鳥獣被害対策診断チーム*が地元集落役員と協働で獣害防護柵を設置しました。

集落内で獣の通り道となっている2カ所の斜面に2m間隔で支柱を立て、強度の異なる金網2種類を上下につなぎ合わせ、支柱に固定し防護柵を設置しました。また防護柵下部の金網は支柱の外側に折り返し、地面にアンカーで止め、獣が侵入できないようにしました。

今回の協働活動では、延べ100mの防護柵を設置しました。作業は5時間程度で終了し、役員の方々の手際の良さや結束力の強さがうかがわれました。地元からは「おかげで早く終わることができた」と感謝の声が聞かれました。

今後、集落では防護柵で囲まれていない箇所へ計画的にブロック毎に防護柵を設置していく予定です。今後も普及センターは地元集落の獣害対策を支援していきます。

場 所 京丹波町坂原
出席者数 13名

京都府南丹農業改良普及センター